

令和2年4月7日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

豊川市教育委員会

書道家 ^{ごんだ すいえん} 権田 穂園 様による豊川市立小中学校への寄附について

この度、権田 穂園様より豊川市立小中学校に対し、令和初の「歌会始の儀」にて、天皇陛下が詠まれた歌を権田氏が書き写した書のご寄附をいただきましたので、ご案内申し上げます。学校に、早く子どもたちの明るい声が戻ることを願ってお書きいただいたものです。

記

- 寄附受納日
令和2年4月7日（火曜日）
- 会 場
本庁舎2階 市長室
- 寄 贈 者
書道家 権田 穂園（ごんだ すいえん）様
豊川市在住
- 寄附の内容
書及び額 36点
「学舎にひびかふ子らの弾む声さやけくあれとひたすら望む」
- その他
 - ・歌の内容及び権田氏の経歴については、別添資料のとおりです。
 - ・各小中学校には、4月10日（金曜日）に配付する予定です。



【お問合せ先】豊川市教育委員会 庶務課 柴田 TEL:0533-88-8032
Eメール kyoikushomu@city.toyokawa.lg.jp

令和2年歌会始御製

御題 「望」

御製

学舎にひびかふ子らの弾む声

さやけくあれとひたすら望む

天皇皇后両陛下には、皇太子同妃両殿下時代より度々子どもたちの集う施設や学校などを御訪問になられています。令和元年六月には、東京都港区の麻布保育園を訪れられ、子供たちが元気に遊ぶ姿を御覧になられました。

また十一月には、愛子内親王殿下がご通学になられている学習院女子中・高等科の文化祭を訪れられ、中高生の生き生きとした姿を喜ばしく思われましたとのことでした。この御製は、そのようなおふれあいのたびに、子供たちの将来が明るくなってほしいと願われるお気持ちをお詠みになられたものです。

(参考 宮内庁公式ホームページ)

権田 穂園 略歴
(公社)中日書道会顧問



1937年	宝飯郡一宮町生まれ
1956年	津金鶴仙・津金孝邦に師事
1967年	三河書芸会創設、第1回「三河書芸展」開催 本年第52回「三河書芸展」3/24(火)~3/29(日) (桜ヶ丘ミュージアム)
1986年	フランス・ニース市にて個展記念に 豊川・宝飯小中学校へ額作品70点寄贈。
1988年	一宮町文化賞受賞
1995年	豊宝書道会創設
1998年	豊川市文化奨励賞受賞
1999年	プロ野球イチロー選手へ豊川閣より「敬天愛人」 マリナーズ入団記念「龍虎鳳遊」軸揮毫し激励
2001年	音楽家喜多郎氏へグラミー賞受賞記念「東日賞」顕彰状揮毫(毎年揮毫) 愛知教育文化振興会主催小中学校書初め手本揮毫(毎年揮毫)
2005年	愛・地球博・9/12(月)会場にて作品揮毫
2009年	豊川市・中国無錫市新区友好都市提携記念として、両市へ書作品「日出乾坤輝」揮毫
2019年	新年号「令和」大本山永平寺、豊川市、豊川商工会議所へ寄贈 平成天皇歌会始 三十首屏風 豊川市へ
その他	全三河書道百選展顧問、公益社団法人中部日本書道会顧問、 豊橋市民展・中日書道展審査員、三河書芸会会長、(公社)豊川文化協会相談役、 海陽学園、豊川市民講座書道各講師 (豊川商工会議所 第26回郷土芸術家展資料より)